

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
人間学部	人間文化学科	准教授	阿部 正典	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	人間文化入門、基礎数学（人間学部）、社会統計学Ⅱ、基礎数学（理工学部）、環境物理学、環境と科学、社会統計学Ⅰ、統計学の基礎、理工数学、線形代数、数学、微分積分、基礎総合演習Ⅰ、基礎総合演習Ⅱ		公表
(2) 大学院担当科目	応用物性学特論Ⅱ、量子物性工学特論		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

II 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	原子核物理学の理論的研究	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	特記事項なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題	特記事項なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題	特記事項なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	特記事項なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

著書・論文			
2	言語種別	特記事項なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

著者・共著者	
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない	

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			公表
1	発表年月日	特記事項なし	
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない			

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			公表
1	期間	特記事項なし	
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	容等	
--	----	--

IV 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	特記事項なし	公表
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	
1	特記事項なし		公表
2			
3			
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	
*****	*****	非公表

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
人間学部	人間文化学科	特任教授	有見 正敏	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	「算数」「専門職研究」「保育・教育研究」「専門教養演習」「初等教育実習事前事後指導」 「初等教育実習Ⅰ・Ⅱ」「人間教育研究基礎」「人間教育研究Ⅰ」「人間教育研究Ⅱ」		公表
(2) 大学院担当科目	該当なし		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	科目名 該当なし	大学等の名称	

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等	2022 年 11 月 16 日 2022 年 11 月 24 日	・登米市算数科研修会（登米市立登米小学校）：授業研究指導助言と「新学習指導要領を踏まえた算数科の授業づくり」～学び合いを通して～と題して講話 ・登米市算数科研修会（登米市立北方小学校）：授業研究指導助言と「児童が主体的に学び合う授業づくりを目指して」と題して講話	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

Ⅱ 研究活動

1－1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	算数科における主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1－2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1－3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	教育人材育成拠点校・協力校推進事業における連携と推進	非公表
	配分機関	保育士・教員養成センター ☐ 公表できない	
2	研究課題	教育人材育成拠点校・協力校連携推進事業の積極的な取組	公表
	配分機関	教育改革支援助成 ☐ 公表できない	
3	研究課題	地域に開かれた学校運営協議会	公表
	配分機関	東松島市教育委員会、矢本西小学校 ☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（１）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	該当なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

（２）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

個人研究費課題 ☐ 該当 ☐ しない

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	2022年11月16日	公表
	発表テーマ	「新学習指導要領を踏まえた算数科の授業づくり」～学び合いを通して～	
	会議名	登米市算数科研修会（登米小学校）	
	主催者	登米市教育委員会	
	会議区分、講演区分	講師	

講師・講演			
2	発表年月日	2022年11月24日	公表
	発表テーマ	「児童が主体的に学び合う授業づくり」	
	会議名	登米市算数科研修会（北方小学校）	
	主催者	登米市教育委員会	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	会議区分、講演区分	講師	
--	-----------	----	--

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	2022年：4月21日、8月18日、12月15日 2023年：2月24日	公表
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	学校運営協議会	
	役割	運営参加・支援（副会長）	
	主催者・発行元、場所	東松島市教育委員会、矢本西小学校	
	対象	教職員、地域関係者	
	概要	学校運営の改善と子どもたちの健全育成を図る	

活動			公表
----	--	--	----

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2	期間	2022年：5月25日、10月19日、2023年：2月22日	
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	女川の教育を考える会	
	役割	運営参加・支援・指導助言	
	主催者・発行元、場所	女川町教育委員会	
	対象	教職員、地域関係者	
	概要	学校運営の改善と子どもたちの健全育成を図る	

活動			公表
3	期間	2022年：5月23日、11月29日	
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	仙台市教員育成協議会	
	役割	運営参加	
	主催者・発行元、場所	仙台市教育委員会	
	対象	教職員、学生	
	概要	教員の資質向上に関する指標の策定、キャリアステージに応じた職員像の設定と研修	

活動			公表
4	期間	2022年：7月5日、8月3日	
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	女川町教育委員会活動状況に関する点検及び評価	
	役割	評価委員	
	主催者・発行元、場所	女川町教育委員会	
	対象	女川町教育委員会、教職員、地域住民・保護者	
	概要	確かな学力の育成、健やかな体の育成、特別支援教育の推進、教育環境づくり、女川町史編さん 等	

活動			公表
5	期間	2022年：6月2日、2023年：2月3日	
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	石巻市食育推進会議	
	役割	推進委員（副会長）	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	主催者・発行元、場所	石巻市健康部健康推進課	
	対象	地域住民、学校関係者	
	概要	食育の推進（計画の基本方向、目標の設定、計画の推進と取組）	

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	保育士・教員養成センター副センター長	教育人材育成拠点校連携推進連絡会の推進と連携	
2	保育士・教員養成センター副センター長	石巻圏域保育・教育人材育成推進協議会において、センターの取組と成果について説明	
3	保育士・教員養成課程履修指導室長	保育士・教員採用試験対策、就職相談等	
4	保育士・教員養成センター運営委員	保育士・教員養成課程の自己点検・評価	

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
人間学部	人間文化学科	教授	恵原 貴志	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	基礎物理学 A（基礎物理学、物理学Ⅰ）、物質とエネルギー、くらしの安全学、情報活用法Ⅰ、人間環境学、人間文化基礎演習（基礎総合演習Ⅱ）人間文化演習Ⅰ、人間文化演習Ⅱ、人間文化入門		公表
(2) 大学院担当科目	固体物理学特論、磁気デバイス工学特論、物質工学特別研修Ⅰ、物質工学特別研修Ⅱ、物質工学特別演習・実験Ⅰ、物質工学特別演習・実験Ⅱ、固体物性工学特論、物質物理工学セミナー、物質機能工学博士特別演習・実験		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

II 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	金属酸化物の研究	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	*****	非公表
	配分機関	***** ☒ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	該当なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	2022 年 9 月 14 日	公表
	発表テーマ	CuO 薄膜とサファイア基板の熱反応による銅アルミニウム複合酸化物の生成	
	会議名	日本セラミックス協会 第 35 回秋季シンポジウム	
	主催者	日本セラミックス協会	
	学会区分	全国学会・研究会	
	発表形式	口頭発表	
	単独共同区分	単独	
	開催期間	2022 年 9 月 14 日から 16 日	
	発表者・共同発表者	恵原貴志	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	概要		
特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	情報教育研究センター委員		公表
2	実験廃棄物処理委員会委員		
3	毒物・劇物管理責任者		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

4	放射線障害予防委員会委員		
5	数理データサイエンス（リテラシーレベル）教育の検討ワーキンググループ		

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
人間学部	人間文化学科	教授	遠藤 郁子	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	日本文学へのいざない 日本文学論 日本文学研究 国語 初等教科教育法（国語） 人間文化演習Ⅰ 人間文化演習Ⅱ 人間文化入門		公表
(2) 大学院担当科目	該当なし		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

II 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	日本近現代文学	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	「震災後短歌による出来事の現前化と再構築に関する総合的研究」	公表
	配分機関	日本学術振興会 ☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（１）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	日本語	公表
	発行・発表の年月	2022 年 10 月	
	形態種別	研究論文	
	査読	有	
	標題	ゾンビ表象と原発—恩田陸『錆びた太陽』を読む	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	『〈パンデミック〉とフェミニズム』	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	翰林書房	
	巻・号・頁	143-156	
	総ページ数		
著者・共著者			
			個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない

（２）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

個人研究費課題 ☐ 該当 ☐ しない

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	概要		
特許取得			
1	取得国 知的財産権の種類 出願国 出願番号、公開番号 特許名 特許概要	該当なし	公表

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間 活動形態 タイトル、種別 役割 主催者・発行元、場所 対象 概要	2022 年 4 月～2023 年 3 月 実行委員会 岩手・宮城・福島 MIRAI 文学賞・映像賞 文学賞審査委員 岩手・宮城・福島 MIRAI 文学賞・映像賞事務局（株式会社第一広告社） 一般 2022 年岩手・宮城・福島 MIRAI 文学賞の審査委員を担当。2023 年 3 月 24 日に開催された授賞式で、ポプラ社千葉均社長、一般社団法人 ONE TOHOKU HUB 小野拓也理事とともに、「若者×文学」をテーマにクロストークを実施。	公表

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	
1	紀要委員長		公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2			
3			
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
人間学部	人間文化学科	教授	大縄 道子	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	中等教科教育法（英語）Ⅰ、中等教科教育法（英語）Ⅱ、英語文学講読入門、総合英語演習Ⅱ、人間文化演習Ⅰ、人間文化演習Ⅱ、フレッシュマンセミナー		公表
(2) 大学院担当科目	該当なし		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし	該当なし	

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
該当なし				

II 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	アメリカ児童・思春期文学、英語多読研究	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2023 年 3 月	
	形態種別	研究論文	
	査読	なし	
	標題	Grade Readers で読み比べる『野生の呼び声』—原作と縮約版のテキスト比較分析—	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	石巻専修大学 研究紀要	
	掲載区分		
	出版社・発行元	石巻専修大学	
	巻・号・頁	第 34 号	
	総ページ数	12	
著者・共著者			
			公表
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	特記事項なし	
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		
			公表
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない			

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			公表
------	--	--	----

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

1	取得国	該当なし	
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	令和4年4月～令和5年3月	公表
	活動形態		
	タイトル、種別	日本多読学会 理事	
	役割	年会発表報告集編集	
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	
1	人間学部教務委員会委員		公表
2	保育士・教員養成センター委員		
3	言語専門教育センター委員		
4	英語外部検定試験検討委員		

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
人間学部	人間文化学科	教授	西方 守	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	哲学—知の起源—(哲学)、教育学概論、教育原理(中等)、教育哲学、人間文化基礎演習、人間文化演習Ⅱ、人間学概論、人間文化入門		公表
(2) 大学院担当科目	該当なし		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	哲学	石巻赤十字看護専門学校	

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む） 特記事項なし		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書 特記事項なし		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等 特記事項なし		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項 特記事項なし		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
該当なし				

II 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	テオドール・リットの弁証法	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（１）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	日本語	公表
	発行・発表の年月	2022年7月22日	
	形態種別	著書	
	査読	なし	
	標題	私の教育哲学—コロナ禍の講義録—	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元	専修大学出版局	
	巻・号・頁		
	総ページ数	234頁	
著者・共著者	西方 守		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☒ しない

（２）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

個人研究費課題 ☐ 該当 ☐ しない

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	2023年3月16日	公表
	発表テーマ	最終講義「私の研究と教育について」	
	会議名	人間学部「10周年記念行事」	
	主催者	石巻専修大学人間学部	
	会議区分、講演区分	講演	

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	
1	遺伝子組換え実験安全委員会委員	2007年4月1日～2023年3月31日	公表
2			
3			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
人間学部	人間文化学科	教授	根本 泉	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	人間文化入門（複数担当者科目）、比較文学論、小学校の外国語活動、英語文学論（英米文学論）、英語文学研究（英米文学研究）、外国語、教育総合英語Ⅱ、人間文化基礎演習、人間文化演習Ⅰ、人間文化演習Ⅱ		公表
(2) 大学院担当科目	該当なし		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし	該当なし	

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

II 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	C. S. ルイス『ナルニア国年代記物語』に見るスペンサー的ユーモア	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			公表
1	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2022 年 4 月 10 日	
	形態種別	研究論文（学術雑誌）	
	査読	なし	
	標題	「キリスト教文学」としての『余は如何にして基督信徒となりし乎』	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	内村鑑三研究	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	教文館	
	巻・号・頁	第 55 号、112-128 頁	
	総ページ数	17 頁	
著者・共著者	根本泉		
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			公表
1	発表年月日	該当なし	
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない			

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			公表
------	--	--	----

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

1	取得国	該当なし	
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			公表
1	期間	2022 年 6 月 22 日	
	活動形態	社会貢献活動	
	タイトル、種別	模擬授業「英語の詩を楽しむ」	
	役割	講師	
	主催者・発行元、場所	場所：石巻専修大学	
	対象	高校生（志津川高等学校）	
	概要	英語の詩は日本語の詩とどう違うのかを比較した上で、イギリス・ロマン派の詩人であるウィリアム・ワーズワースの詩「水仙」を読むと共に、詩人の思想、英詩独特のリズムと韻について紹介した。	

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	全学教務委員会委員	特記事項なし	
2	人間学部教務委員会委員長	学部の教務事項全般についてその都度協議すると共に、年度の優先課題に取り組んだ。	
3	言語教育専門部会外国語第一小部会長	特記事項なし	
4	英語外部検定試験検討委員会委員	特記事項なし	
5	個人情報保護運営会議委員	特記事項なし	

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
人間学部	人間文化学科	准教授	野島 那津子	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	地域社会論、社会調査論、家族社会学、社会学の世界、フレッシュマンセミナー、人間文化入門、社会調査の基礎、社会学概論、人間文化演習Ⅰ、人間文化演習Ⅱ		公表
(2) 大学院担当科目	該当なし		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）	2022年4月	コメントシートを活用したインタラクティブな授業実践を行った。	
(2)	作成した教科書、教材、参考書	2022年4月	各授業において授業計画ならびに学生の授業理解度に応じた PowerPoint 資料を作成した。	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

II 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	「障害」概念の再検討と「給付金のたかり屋」に関する言説分析	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	'benefit scroungers' 言説にみる新たな排除のスタイルとその生成プロセス	公表
	配分機関	公益財団法人 稲盛財団 ☐ 公表できない	
2	研究課題	障害者とは誰か？：障害者手帳をめぐる筋痛性脳脊髄炎／慢性疲労症候群及び線維筋痛症当事者の語りから	公表
	配分機関	公益財団法人 ひと・健康・未来研究財団 ☐ 公表できない	
3	研究課題	希少疾患当事者の社会的宙づり状態に関する研究	公表
	配分機関	日本学術振興会 科学研究費助成事業 ☐ 公表できない	
4	研究課題	英国における給付金受給者の生活の可視化と社会的振り分けに関する社会学的研究	公表
	配分機関	日本学術振興会 科学研究費助成事業 ☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	該当なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	2022 年 10 月 28 日	公表
	発表テーマ	「論争中の病」はどのように伝えられてきたか：病気イメージの形成プロセスの解明に向けて	
	会議名	NHK 番組アーカイブス学術利用トライアル 研究報告会 2022	
	主催者	NHK	
	学会区分	全国学会・研究会（招待講演）	
	発表形式	口頭	
	単独共同区分	単独	
	開催期間	2022 年 10 月 28 日	
	発表者・共同発表者	野島那津子	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

			個人研究費課題	■該当	・□しない
学会発表					
2	発表年月日	2023 年 2 月 20 日	公表		
	発表テーマ	「論争」はどこで、なぜ生じるのか			
	会議名	研究集会「エビデンスは棍棒ではない3：『エビデンスと社会とわたし』とその”隙間”を考える」			
	主催者	国立環境研究所 社会対話・協働推進オフィス			
	学会区分	全国学会・研究会（招待講演）			
	発表形式	口頭			
	単独共同区分	単独			
	開催期間	2023 年 2 月 20 日			
	発表者・共同発表者	野島那津子			
			個人研究費課題	■該当	・□しない

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

IV 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			公表
1	発表年月日	2022 年 12 月 27 日	
	発表テーマ	障害と貧困：「社会的排除」の観点から	
	会議名	石巻市 令和4年度子どもの貧困及び障害者理解促進講演会	
	主催者	石巻市	
	会議区分、講演区分	講演会	

受賞学術賞			公表
1	受賞年月日	該当なし	
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			公表
1	取得国	該当なし	
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	
1	紀要編集委員会委員	紀要の編集計画の立案や編集作業	公表
2	就職指導委員	就職に関する事項の審議	
3			
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
人間学部	人間文化学科	教授	長谷川 香子	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	「言語学概論」「英語翻訳入門Ⅰ」、「特殊講義Ⅱ」、「特殊講義Ⅳ」、「人間文化演習Ⅰ」、「人間文化演習Ⅱ」、 「英語A」「英語B」、「フレッシュマンセミナー」		公表
(2) 大学院担当科目	該当なし		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
		2022/4/1～8/5	「言語学概論」音韻論、形態論、統語論、認知言語学、語用論について日英語を対照に解説した。	
		2022/4/1～8/5	「英語翻訳入門Ⅰ」様々なジャンルの英文を正確、且つ自然な日本語に翻訳できるよう、実務翻訳の要点を解説しながら集中的演習を行った。	
		2022/4/1～8/5	「英語A」英語の文法力と作文力養成を目標に演習形式で授業を行った。	
		2022/4/1～ 2023/2/8	「人間文化演習Ⅰ」アメリカの政治形態と構造、福祉制度、及び社会問題について講読を通しながら議論を行い、各章の要点まとめを指導した。	
		2022/4/1～ 2023/2/3	「人間文化演習Ⅰ」卒業論文に向けて、研究テーマを設定し、文献や資料を通し、研究発表、及び、論文作成を指導した。	
		2022/4/1～ 2023/2/3	「フレッシュマンセミナー」演習を通し、アカデミックスキルの習得を目標に、通年で2個のレポートと1回のプレゼンテーションを指導した。	
		2022/9/21～	「特殊講義Ⅱ」TOEIC対策の集中的演習を通し、取得点数の向上を図った。	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

		2023/2/3	模擬試験は2回行い、解答解説を通し、実際の試験に向けての準備と英語技能の向上を図った。
		2022/9/21～ 2023/2/3	「特殊講義Ⅳ」観光英語のスキル向上を目指し、国内外の観光地について知識を深め、用語習得と観光英会話の実用的練習を行った。
		2022/9/21～ 2023/2/3	「英語B」英語の講読力養成を目標に、演習形式で授業を行った。
(2)	作成した教科書、教材、参考書	2022/4/1～8/5	「言語学概論」教科書の他に、各専門分野について資料文書を作成し内容理解の向上を図った。
			「英語翻訳入門Ⅰ」各基本的文法事項についてプリントを作成し英文法の理解と応用力の養成を目指した。授業では各ジャンルに及ぶ英文翻訳練習ができるようアップデートな資料を準備し実用的英語翻訳の集中的練習を行った。
			「英語A」教科書の他に、文法事項の理解と応用力の定着を目標に、補足練習問題を準備し集中的演習を行った。また、演習の解答と英文の日本語訳をワープロで作成し配布した。
		2022/4/1 2023/2/8	「人間文化演習Ⅰ」講読における文法事項、熟語、慣用表現、及び用語についてプリントを作成し、また、学生の発表した英文について確認と復習ができるよう要約をワープロでまとめ、配布した。
			「人間文化演習Ⅱ」学生各自の研究テーマに沿って、文献と資料収集、及び、データ作成の方法を提示し、議論と提案を通しながら、プレゼンテーションと論文作成を指導した。
			「フレッシュマンセミナー」教科書とDVDの内容について丁寧な解説を行いながら、学生の提出したワークシート、プレゼンスライド、及びレポートを入念に点検し、校正を行った。
		2022/9/21～ 2023/2/3	「特殊講義Ⅱ」演習ドリルと模擬試験の解答、及び、講読英文の日本語訳をワープロで作成し、配布した。
			「特殊講義Ⅳ」教科書の他に、海外の観光地に関するアップデートな英文記事を提供し用語と語彙、及び英文講読力の養成を図った。また、観光会話における実践力向上を目指し、学生によるロールプレイを実施した。
			「英語B」英文法の理解と応用力、及び、講読力の向上を目指し、英文の日本語訳と演習の解答をワープロで作成し、配布した。
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

(4)	その他教育活動上特記すべき事項			

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	言語獲得と脳機能の発達	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（１）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	該当なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

（２）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

個人研究費課題 ☐ 該当 ☐ しない

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	令和4年5月20日	公表
	発表テーマ	日本語の構造と様相	
	会議名	国際体験研修	
	主催者	国際交流委員会	
	会議区分、講演区分	講演	

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	
1	言語専門部会副会長	外国語科目の運営	公表
2	図書館委員会委員	図書館の書籍充足と利用環境について検討	
3	国際交流運営委員会委員	留学生と日本人学生の交流、及びランドルフ・メイコン大学とのオンライン交流	
4	ホームページ委員会委員	ホームページのあり方について新たなプロジェクトの検討	

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
人間学部	人間文化学科	教授	松崎 俊之	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	人間学概論、人間文化入門、人間文化基礎演習、現代文化論、地域文化政策論、芸術文化論、メディアアート論、人間文化演習Ⅰ・Ⅱ		公表
(2) 大学院担当科目	該当なし		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	美学	東北芸術工科大学	

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

II 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	美的経験理論の研究	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	日本語	
	発行・発表の年月	2023 年 3 月	
	形態種別	研究論文	
	査読	無	
	標題	音に関する統合特性理論	
	執筆形態	単著	
	掲載誌名	石巻専修大学 研究紀要	
	掲載区分	国内	
	出版社・発行元	石巻専修大学	
	巻・号・頁	34 号、33-45 頁	
	総ページ数	13 頁	
	著者・共著者	松崎俊之	
個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない			

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	2022 年 7 月 16 日	公表
	発表テーマ	感性・美的特性・美的用語	
	会議名	東北芸術文化学会第 28 回大会	
	主催者	東北芸術文化学会	
	学会区分	地方学会	
	発表形式	口頭	
	単独共同区分	単独	
	開催期間	2022 年 7 月 16 日～7 月 17 日	
	発表者・共同発表者	松崎俊之	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	概要		
特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	図書館長	特記事項なし	
2	人間学部学科主任教授協議会構成委員	特記事項なし	
3	研究助成専門委員会委員	特記事項なし	
4	教員資格審査委員会委員	特記事項なし	

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
人間学部	人間文化学科	准教授	目黒 志帆美	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	英語 A、教育総合英語 I、総合英語演習 I、いしのまき学（オムニバス）、人間文化入門（オムニバス）、人間文化演習 I、人間文化演習 II、異文化コミュニケーション論、英米文化論、英語中級講読		公表
(2) 大学院担当科目	該当なし		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	英語 C1（全学）、英語 II-A（全学）、アメリカ文化形成論（大学院国際文化研究科）	東北大学	

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		「異文化コミュニケーション論」の授業では、石巻の多文化共生を学ぶ目的のもと、2 回にわたって特別授業を開催した。特別授業①では技能実習生と受け入れ先の団体代表、市の担当職員を招聘して、技能実習生受け入れの実態を学んだ。特別授業②では、ロシアによる侵攻を受けウクライナから石巻に避難されている方を招聘し、戦争の実態等について話をうかがった。	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		上記特別授業②については石巻専修大学 Youtube チャンネル内で講演の様子をアーカイブとして残し、今後の教育にも活用できるようにした。	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

Ⅱ 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	1. 19世紀太平洋世界におけるモノ・人・思想の移動 2. 高等教育機関における英語教育	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	ハワイ文化のグローバル化 —いわき市「フラガールズ甲子園」にみるフラの新たな展開	公表
	配分機関	令和4年度石巻専修大学研究助成（個別研究） ☐ 公表できない	
2	研究課題	「デモクラシー」の受容と拒絶-19世紀ハワイ王国における憲法制定過程の考察	公表
	配分機関	科研費（若手研究） ☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（１）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	該当なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

（２）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	学会区分		
	発表形式		
	単独共同区分		
	開催期間		
	発表者・共同発表者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	コロナの関係で中止	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	該当なし	公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		
	概要		

特許取得			公表
------	--	--	----

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

1	取得国	該当なし	
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	活動形態		
	タイトル、種別		
	役割		
	主催者・発行元、場所		
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	
1	大学開放センター委員		公表
2	キャンパス・ハラスメント防止委員会委員		
3	専修大学情報セキュリティ委員会委員		
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
人間学部	人間文化学科	教授	山内 武巳	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	運動方法学、運動生理学、健康と食生活論、心理学基礎実習、人間文化入門、人間文化演習Ⅰ、人間文化演習Ⅱ		公表
(2) 大学院担当科目	運動生体情報学特論、生体情報システム学特論		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）		該当なし	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

II 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	特殊環境下の生体適応	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（1）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文			
1	言語種別	該当なし	公表
	発行・発表の年月		
	形態種別		
	査読		
	標題		
	執筆形態		
	掲載誌名		
	掲載区分		
	出版社・発行元		
	巻・号・頁		
	総ページ数		
	著者・共著者		
			個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない

（2）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表			
1	発表年月日	2022/06/18	公表
	発表テーマ	山岳テント内と山小屋の睡眠時二酸化炭素濃度の調査	
	会議名	第42回日本登山医学会学術集会	
	主催者	日本登山医学会	
	学会区分	全国学会	
	発表形式	口頭（一般）	
	単独共同区分	共同	
	開催期間	2022/06/18～2022/06/19	
	発表者・共同発表者	山内武巳（石巻専修大学）、安田俊広（福島大学）、 大城和恵（北海道大野記念病院）	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

個人研究費課題 ☒ 該当 ・ ☐ しない

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	該当なし	公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演			
1	発表年月日	該当なし	公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞			
1	受賞年月日	2021/09/25（コロナ禍のため、授賞式を2022年9月に行った）	公表
	授与機関名	日本海洋人間学会	
	受賞学術賞名	日本海洋人間学会 優秀論文賞	
	受賞区分	学会誌・学術雑誌による顕彰	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	概要	冷水浸漬における日本人の直腸温低下率の予測式	
特許取得			
1	取得国	該当なし	公表
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動			
1	期間	令和4年度	公表
	活動形態		
	タイトル、種別	石巻市スポーツ推進審議会委員	
	役割	委員	
	主催者・発行元、場所	石巻市	
	対象		
	概要		

活動			
2	期間	令和4年度	公表
	活動形態		
	タイトル、種別	陸上競技場基本構想策定に関する懇談会	
	役割	委員	
	主催者・発行元、場所	石巻市	
	対象		
	概要		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

活動			
3	期間	令和4年度	公表
	活動形態		
	タイトル、種別	一般社団法人日本セーフティーパドリング協会監事	
	役割	監事	
	主催者・発行元、場所	一般社団法人日本セーフティーパドリング協会	
	対象		
	概要		

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	
1		該当なし	公表
2			
3			
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	
*****	*****	非公表

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

所属			氏名	公表
学部	学科	職名		
人間学部	人間文化学科	教授	輪田 直子	

I 教育活動

1 授業担当科目

(1) 学部担当科目	中国語 BI・II、人間文化入門、中国語中級 I・II、中国語翻訳入門 I・II、中国文化論、中国文学論、中国文学研究、人間文化演習 I、人間文化演習 II		公表
(2) 大学院担当科目	該当なし		
(3) 非常勤担当科目	科目名	大学等の名称	
	該当なし		

2 教育業績

	教育実践上の主な業績	年月日	概要	公表
(1)	教育内容・方法の工夫（授業研究会等を含む）	2022 年 5 月 19 日	全学的な「授業研究会」において、非対面授業の実施状況について発表	
(2)	作成した教科書、教材、参考書		該当なし	
(3)	教育方法・教育実践に関する発表、講演等		該当なし	
(4)	その他教育活動上特記すべき事項		該当なし	

3 博士論文審査

学位取得年度	対象者氏名	学位請求論文題目	主・副査	公表
		該当なし		

II 研究活動

1-1 個人研究費課題等

1	主な研究課題	鄭振鐸『中国俗文学史』「第十二章 弾詞」の再検討	公表
2	具体的な研究目標	*****	非公表
3	達成度	☐ A（達成）、 ☐ B（概ね達成）、 ☐ C（やや達成不足）、 ☐ D（未達成）	非公表
4	達成度の理由・所見	*****	非公表

1-2 個人研究費課題の自己点検・評価

研究活動に関する所見	改善に向けて	非公表
*****	*****	

1-3 個人研究費以外の研究課題

1	研究課題	該当なし	公表
	配分機関	☐ 公表できない	
2	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	
3	研究課題		公表
	配分機関	☐ 公表できない	

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

2 学術発表

（１）学会誌・研究機関誌等に発表したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

著書・論文	該当無し	
1	言語種別 発行・発表の年月 形態種別 査読 標題 執筆形態 掲載誌名 掲載区分 出版社・発行元 巻・号・頁 総ページ数 著者・共著者	公表
個人研究費課題 ☐ 該当 ・ ☐ しない		

（２）学会等において発表（口頭）したもの [石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。]

学会発表	該当無し	
1	発表年月日 発表テーマ 会議名 主催者 学会区分 発表形式 単独共同区分 開催期間 発表者・共同発表者	公表

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

個人研究費課題 ☐ 該当 ☐ しない

Ⅲ 展覧会・演奏会・競技会等における主な活動（芸術分野や体育実技等の分野）

1 活動実績（石巻専修大学研究者情報システムと同じ項目です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動		該当無し	
1	期間		公表
	名称		
	区分		
	開催場所		
	発表・展示等の内容等		

Ⅳ 講師・講演、受賞学術賞、特許取得等

1 石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式で記入してください。 ない場合は該当なしと書いてください。

講師・講演		該当無し	
1	発表年月日		公表
	発表テーマ		
	会議名		
	主催者		
	会議区分、講演区分		

受賞学術賞		該当無し	
1	受賞年月日		公表
	授与機関名		
	受賞学術賞名		
	受賞区分		

2022（令和4）年度 石巻専修大学 教員活動報告書

	概要		
特許取得		該当無し	
1	取得国		公表
	知的財産権の種類		
	出願国		
	出願番号、公開番号		
	特許名		
	特許概要		

V 社会貢献活動

1 貢献内容（石巻専修大学研究者情報システムと同じ様式です。必要数に応じて枠を追加すること。）

活動		全日本中国語スピーチコンテスト東北大会 審査員	
1	期間	2022 年 10 月 30 日	公表
	活動形態	審査員	
	タイトル、種別	全日本中国語スピーチコンテスト東北大会	
	役割	審査員	
	主催者・発行元、場所	宮城県日中友好協会、日立システムズホール仙台	
	対象	高校生、大学生、一般	
	概要	全日本中国語スピーチコンテスト東北大会の審査員として、中国語普及の一端を担う	

VI 大学運営活動

1 学内役職

	学内役職	概要もしくは特記事項	公表
1	人間文化学科主任	学科内の各種業務のとりまとめ	
2	全学教務委員会言語教育専門部会長	全学共通科目における言語科目に関するとりまとめ	
3	人間学部教務委員	人間学部の教務事項の遂行	
4			

VII その他特記すべき事項

事項	改善に向けて	非公表
*****	*****	

VIII 自己点検・評価

1 教育活動の自己点検・評価

教育活動に関する所見	学外 非公表

2 展覧会・演奏会・競技会等の活動の自己点検・評価

展覧会・演奏会・競技会等の活動に関する所見	学外 非公表

3 研究活動の自己点検・評価

研究活動に関する所見	学外 非公表

4 社会貢献活動における自己点検・評価

社会貢献活動に関する所見	学外 非公表

5 大学運営活動における自己点検・評価

大学運営に関する所見	学外 非公表
